



今年も楽しく実施しました **子ども囲碁教室**

夏休みも中盤を過ぎた8月16日、狭山市地域の学び推奨事業「ぼく、わたしの夏休み一初めての囲碁」に、さやま楽友会囲碁クラブ会員4名で参加してきました。中央公民館第5学習室で囲碁を教え、市内の小学生10名と保護者2名が参加しました。初めに囲碁のルール説明（石を打つ場所、打ってはいけない場所、オセロとの違い、石の取り方、勝ち負けの決め方等）をし、小学生同士の対戦をしました。この対戦によりほとんどの小学生が囲碁のルールを理解できたようでした。終了後の小学生参加者の感想は、「短い時間だったけど楽しかった」の意見が大半でした（忖度ではありません😊）。教える立場だったクラブ員でしたが、逆に子供たちに元気もらいました。



めざせ、仲邑堇（なかむらすみれ）!

創部20周年記念写真展開催

SSCC同窓会発足と同時期に創部されたSC写真クラブの「創部20周年記念写真展」が以下の期間開催されます。20年の節目を迎え、会員14名が5点ずつ、全70作品が展示されます。ホームページには撮影会の様子などが掲載されていますので、是非ご覧ください。

会期：令和4年9月13日（火）～17日（土）

9時～19時 ※ 初日12時から 最終日16時まで

会場：狭山市市民交流センター1階

コミュニティホール

SC写真クラブ 創部20周年記念写真展	
会期	令和4年9月13日（火）～17日（土） 9時～19時 初日12時から 最終日16時まで
会場	狭山市駅前 狭山市市民交流センター 1階 コミュニティホール
後援	狭山市中央公民館 狭山市写真連盟
問い合わせ	戸田 尚一郎 TEL 04-2939-3412

新ロゴマーク決定!

皆さん、気づきましたか？今回から題字のところのロゴマークが変わっています。ロゴを同窓会から楽友会に変えたいとの声を受け、新しいロゴが決まりました。制作者は前回もロゴを作っていた、武蔵野美術大学にお勤めの上田和秀先生です。

今までの良いイメージを引き継ぎながら、ジェンダー平等と言われる現代を反映して男女、年齢等を感じさせない多様な人々の連帯を表しています。また、さやま市民大学の修了生が連携して街に出ていくイメージで、外に飛び出す感じにしたそうです。市民大学シンボルの右下のお茶の葉の所、ちょっと見てください。真ん中の人旗を振っています。さしずめ、この楽友会の旗振り役、黒川会長でしょうか。会長の手腕に乞うご期待！です。



このマークは、名称「さやま楽友会」と共に今後の楽友会の様々な活動に使用していきます。

● 『はいかいの小路』 徘徊を俳諧で紹介しようかい パート2 ●

フレッシュ通りを西に進む。御狩場の薬研坂を登りきった所で「富士見通り」と交差する。そのまま直進すると「つつじ通り」で、化粧品工場の正門に。二つの通り共に左折は入曽へ、右折すると狭山市駅だ。面白いのはどちらも途中で合流するのだが、富士見通りからつつじ通りまでは5分位の距離がある。この辺は、今でこそ一面の住宅街だが、昭和34年に時計工場、そして化粧品工場が昭和39年に建てられて茶畑の中に目立っていたそう。本田狭山工場も昭和40年頃には進出して、狭山市の工業団地化が始まった……【茶の里も 高度成長へ まっしぐら】



新しくなった入間川病院と駅まで続く狭山唯一の飲み屋街？

富士見通りを右折し、時計工場前から富士見小学校・消防署富士見分署前を過ぎると、今度は「狭山中央通り」と交差する。更に道なりに進むと大きな入間川病院前を通る。場所はチョット違うが、昔は風間診療所と呼ばれていて、その頃から「私のかかりつけ医」なのです……【貧乏症 治せないよと赤髭が】……今も時々お世話になります（感謝！）。

この辺から駅にかけて飲み屋街になっている。昔は味自慢の割烹料理屋があったが、その頃は財布の中が厳しく、その先の踏み切り前の焼き鳥屋でしか飲めなかったな～……【安月給 枥酒の塩で憂さ晴らし】……今はどうか。昔は一杯飲み屋の枥の縁には「波の花」が盛られていたのです。

直進し、踏み切りを渡り右折すれば西口前、つつじ通りを直進すれば東口前に到着。富士見通りと狭山中央通りの交差を左折すれば、市役所庁舎前を通り入間基地から稻荷山公園に行けるが、直進すると狭山郵便局本庁舎前を通って駅の東口前に行ける。どちらも駅前だけにいろいろなお店が有るし小休止して……一杯やるも良しか？

もう行程の半分以上は過ぎた。一杯やり過ぎたり、疲れたりしたらバスで帰れる。狭山台までは2系統のバスが、少ない時でも20分間隔で走っている。狭山台は高齢者には優しい街なのです。そのせいか市内では一番高齢者が多いそうですよ……【集いしし 働きばちの 花園か】（感竹さん）



「ルミちゃんミッチちゃん」の紙芝居

ご覧になりませんか？



「ルミちゃんミッチちゃん」は、紙芝居作家のルミちゃん（中村ルミ子さん）とビデオ編集担当のミッチちゃん（堀充さん）を中心に、ユーチューブの動画発信等で活動する紙芝居チームです。ミッチちゃんの所属する狭山遊系会が、紙芝居「広瀬斜子織ものがたり」作成を頼んだことがきっかけで、一緒に活動するようになりました。コロナで様々な活動が自粛されており、ルミちゃんも紙芝居活動が思うように出来ない状況の時、動画編集に興味を持ち始めていたミッチちゃんと一緒に活動することになりました。紙芝居作家で、多くの紙芝居を出版しているルミちゃんの作品はユーチューブチャンネル「ルミちゃんミッチちゃん」でご覧になれます。

右は犯罪被害者等支援の会「オリーブ」の佐藤咲子さんの実体験を元にした紙芝居「四十五年分のなみだ」です。自分でも気づかなかった心の傷、45年分の涙とは……？その他「おっばいやま」も必見ですよ。「ルミちゃんミッチちゃん」「紙芝居ルミちゃん」等で検索していただくとうすぐ出ます。コロナ自粛中の今、是非ご覧ください。

